

11月になると、「切山椒」という和菓子をみかけることがあります。

これは求肥に山椒を練りこんで赤、緑、茶などの色をつけたものを短冊状に切った和菓子です。そのため甘いだけではなく山椒の辛さもあって複雑な味になっています。子供のころ和菓子はあまり好きではなかったのですが、切山椒は短冊状の独特のビジュアルと珍しい味が気に入っていて、出回るのが楽しみでした。

最近まで全国的な和菓子だと思っていましたが、実はかなり地域も時期も限定的なものようです。年末や正月にも食べるそうですが、11月の酉の日に開かれる「酉の市」という祭りで縁起物として売られるのが有名です。

酉の市というのは関東のごく一部の神社でしか行われぬ祭りのため、全国的にはもちろん、関東でもあまり知られていないかもしれません。私も切山椒は何度か食べたことがあります。酉の市には台東区の鶯神社の祭りに一度行ったことがあるだけです。東京でこの祭りを開く神社は独特の雰囲気のあるところが多いようです。

11月の酉の日はその年の暦によって2回と3回のときがあり、「酉の市が3回ある年は火事が多い」という俗説があるそうです（今年は3回です）。根拠はわかりませんが、年の瀬を迎えての火の用心ということかと思えます。

年末にむけて忙しくなる時期、うっかりすることがよくあります。火災にもそのほかの事故にも気を付けて安全行動をこころがけなければと、あらためて思います。 (M.K)

今号には、第17回光通信工事技能競技会の模様が特集で報告されています。コロナ禍で3年ぶりの開催だったため、会場は熱気ムンムンだったのがオンライン画面からも伝わってきました。本職の女性キャスターによるインタビューもあり、まるでテレビ番組さながらの映像配信サービスでした。皆さんはご覧になりましたか。

ふと思い出したのですが、NHKには企業や業界団体の中だけで開催されているスキルアップのためのコンテストを実況放送する面白いバラエティー番組があります。繊細な手仕事、堅実な努力、超絶技巧、仕事に使う技術をひたすら磨き上げた技の内匠や技術者たちの熱き戦いを、実況形式で紹介する番組です。

これまでスチール製物置の組み立て技術とスピードを競う全国大会やキーボード選手権 生字幕入力コンテスト、冠動脈吻合技術競技会、全日本打掛花嫁着付けコンテストなど、けっしてふざけたものではなく、その業界でスキル向上のために定例的に開催している競技会にカメラを持ち込み放送してしまうのです。もちろん実況はプロレス実況の第一人者のため、盛り上げも完璧。

番組の構成も面白く、放送局としては十分楽しい番組を放送することができますし、業界団体としては日頃の地道な努力を広く世の中に知っていただく絶好の機会となります。今回の技能競技会をオンライン視聴して、こういう番組に取り上げてもらえれば、日本が誇る情報通信エンジニアリング技術の高さをアピールすることができて良いのではないかと思います。 (Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

Raisers第70巻第6号(通巻第757号) 2022年11月10日発行

編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)